

令和6年度 読み聞かせ会（「ぎ・ひさまつ」）



12月3日（火）に読み聞かせ劇団「ぎ・ひさまつ」をお招きし、読み聞かせ会を実施しました。

「ぎ・ひさまつ」は、東京都中央区を中心に活動している読み聞かせグループであり、学校や地域で、幼児から高齢者まで幅広い年代への絵本の読み聞かせを行っています。

演目は、「きょうはなんてうんがいいんだろう」「じゃんけん」「くものすおやぶんとりものちよう」「やさいのおなか」「でんせつのきよだいあんまんをはこべ」でした。

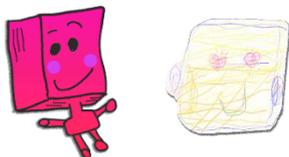
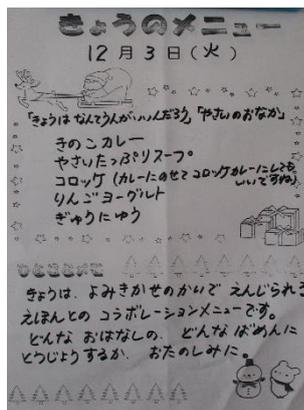
場面に合わせて声色や声量が変わったり、木琴やアコーディオンなどの効果音が入ったりと、たくさんの仕掛けに、児童・生徒だけでなく教職員も物語の世界に引き込まれました。声を出して笑ったり、「あっ」と驚いた表情をしたりと、一人一人が感じたことを表現していました。

また、当日の給食は、「きょうはなんてうんがいいんだろう」と「やさいのおなか」の絵本とのコラボレーションメニューとして、きのこカレー、コロッケ、やさいスープ、りんごヨーグルトが出ました。



やさいクイズでは、「きゅうり」「さつまいも」など野菜の名前が多目的室に飛び交いました。

午後の部では、給食で出たメニューが絵本の中に登場すると、前のめりになったり、思わず声を出したりする様子が見られました。



最後はハイタッチをしながらお礼を言いました。



※イラストは、読書活動推進のために児童・生徒が作ったゆるキャラです。